

SPORTS LEGACY Report 2018

東京マラソン財団 「スポーツレガシー事業」のご報告

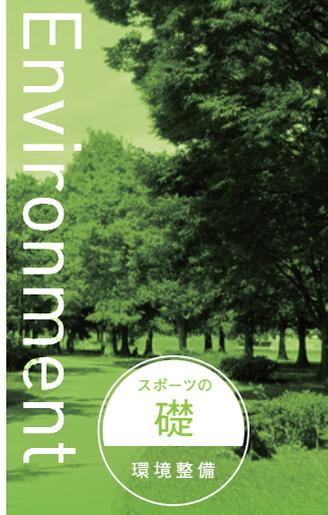
Dream



スポーツの
夢
強化育成

アスリートの強化
ジュニアアスリート育成
キャリア支援

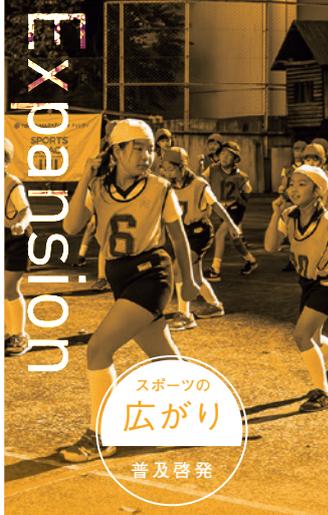
Environment



スポーツの
礎
環境整備

スポーツ施設などの
環境整備

Expansion



スポーツの
広がり
普及啓発

スポーツ大会の支援
及び普及啓発

Contribution



スポーツの
力
社会貢献

スポーツイベント等を
通じた社会的課題
解決への試み



未来に遺すスポーツを、今つくる。

近年、スポーツへの期待が高まる中、スポーツそのものが持つチカラにも関心が高まっています。

競技スポーツやレクリエーションスポーツといった枠組みを問わず、

「スポーツ」が起点となって、21世紀の東京そして日本に「明るい未来へとつながるレガシー」を遺していきたい。

そんな想いから「スポーツレガシー事業」は始まりました。「スポーツが後世に遺せるものは何か」について語り合い実践する場を提供することで、

スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承を目指します。

スポーツレガシー事業 公式ウェブサイト ▶ <http://www.marathon.tokyo/sportslegacy/>

ご寄付いただいた皆様より

海外からのチャリティランナーさんが多くてビックリしました。
大会主催で懇親会(チャリティパーティー)的な場を設けてみるのも、良いかと思いました。

44歳 男性

普段仕事をしているとボランティア活動に参加することは難しいので、
こういう形でも社会貢献できることは有りがたかった。

57歳 女性

新潟県中越地震で被災し、
全国から支援をいただいた。
恩返しのため、
今後もチャリティランナーで
東京マラソンに参加したい。

52歳 男性

たくさんのサポーターの方に支えていただき、
完走できたことを感謝しております。ありがとうございました。

43歳 女性

東京マラソンの時期になると3.11の震災を思い出します。
私の走りが少しでも復興支援に役立てられるなら、頑張って走り続けます。

65歳 女性

中々行動に移せずにいる中、
寄付先の事を念頭に置きながら
約一年間トレーニングをし、
感動の東京マラソンに参加出来るこの制度は
大変有効と感じております。
チャリティは継続性が重要と思いますので、
共有する思いで引き続き参加できる様な制度が
検討される事を願っております。

50歳 男性

寄付者プログラム

スポーツレガシー事業に寄付をいただいた方には、以下のような寄付者プログラムをご案内しました。

2018年5月までの実績をご紹介します。

2018年度にも開催予定ですので、スポーツレガシー事業に関する意見交換や交流の機会としても積極的にご参加ください。

「東京マラソン」当日のラウンジ無料招待



東京マラソン2018では、フィニッシュエリアにおいてスポーツレガシー事業に寄付をいただいたチャリティランナー向けにラウンジを設け、軽食を召し上がっていただきました。ご家族にも待ち合わせスポットとしてご利用いただきました。

ランニングクリニック無料招待



東京マラソン2018出場までの3カ月前よりランニングクリニック（講習会）を実施しました。講師には、チャリティ・アンバサダーの大島めぐみさんを迎え、時期別のトレーニング方法や食事摂取など、座学と実習により合計3回実施しました。

寄付金事業の視察・招待



寄付金事業が実施される際に視察や交流を目的として実施しました。

- ダイヤモンドアスリート認定制度の第4期認定式及び修了式（結団式の出席、ダイヤモンドアスリートとの交流会）
- 車いす陸上体験教室
- 東京都障害者スポーツ大会各種目

関連イベント無料招待



その他、寄付金事業に関わるスポーツ大会等のイベントに無料でご招待しました。

- 東京マラソン財団オフィシャルイベント（5月、10月に開催。スポーツレガシーチームとして無料招待）
- セイコーゴールデンランプリ陸上（観戦会、バックヤードツアーを実施）

事業についての詳細・お問い合わせはこちらから

SPORTS III LEGACY

TOKYO MARATHON FOUNDATION

スポーツレガシー事業

公式サイト <http://www.marathon.tokyo/sportslegacy/>

スポーツレガシー事業は、東京マラソン2019チャリティの寄付先事業となっています。



東京マラソン2019チャリティ

公式サイト <http://www.marathon.tokyo/charity/>

お問い合わせ事務局

E-mail info_charity@tokyo42195.org

Tel 03-5474-2091 受付時間:10:00~17:00(土日、年末年始を除く)

発行:一般財団法人東京マラソン財団



SPORTS LEGACY 寄付実績・寄付先事業の拡充

東京マラソン財団 スポーツレガシー事業 スポーツを軸とした新しいライフ スタイルを享受できる社会の実現 と継承	2015大会		2016大会		2017大会		2018大会		累計
		304件		291件		274件		412件	
	20,435,059円		29,710,312円		30,237,470円		41,823,708円		122,206,549円

東日本大震災復興支援事業 被災地の育英事業 いわての学び希望基金、東日本大 震災みやぎ子ども育英募金、東日本 大震災ふくしま子ども寄附金へ分配	2011大会	2012大会	2013大会	2014大会	2015大会	2016大会	2017大会	2018大会	累計
		—	—	750件	1,222件	694件	680件	300件	454件
	6,500,000円 <small>※</small>	93,505,634円 <small>※</small>	75,192,098円 <small>※</small>	104,136,112円 <small>※</small>	62,634,200円	50,941,000円	22,131,000円	41,160,000円	456,200,044円

※2011大会(2011年度)、2012大会(2012年度)、2013大会(2013年度)の寄付金については、被災地3県の育英事業以外の使途も含まれます。

2019大会より、東京マラソン財団「スポーツレガシー事業」が実施する寄付先事業を以下の3事業に拡充します。
ご支援よろしくお願いたします。

スポーツレガシー事業 ①

スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受
できる社会の実現と継承

スポーツレガシー事業 ②

被災地の小学生を対象にしたスポーツ活動
「キッズアスレティクス×とうほくキャラバン」
による復興支援

スポーツレガシー事業 ③

被災地の育英事業(いわての学び希望基金、
東日本大震災みやぎ子ども育英募金、東日本
大震災ふくしま子ども寄附金へ分配)

2018年度実施予定プロジェクト

1 スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承



ダイヤモンドアスリートプログラム

公益財団法人日本陸上競技連盟

世界を舞台にリーダーシップを発揮し、子どもたちの憧れとなる
ようなスター選手の育成をサポートします。

2015年度～

EXCEEDチャレンジプログラム

一般社団法人日本実業団陸上競技連合

世界的な競技会で活躍できるマラソンランナーの育成・
強化をサポートします。

2018年度～



ランニングコース整備

ランナーが気軽にランニングを楽しみ、仲間とともに継続できる環境の整備をサポートします。

2016年度～



キッズアスレティクス × 東京マラソンスタイル

日本キッズアスレティクス協会(一般社団法人キッズアスレティクス・ジャパン)

子どもたちのスポーツ基礎力を高めるとともに、陸上競技へ
の関心が高まるようサポートします。

2016年度～

車いす陸上チャレンジサポート

一般社団法人ウィルチェアアスリートクラブ ソシオSOEJIMA

車いす陸上体験教室に参加した方が、実際に競技を
続けられるようにサポートします。

2016年度～



キッズ&ファミリンピック(車いすスポーツ交流イベント)

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

車いすスポーツの体験・交流イベントを通して、
障害者スポーツへの参加者を増やすと共に理解・共感を深めることをサポートします。

2018年度～

東京マラソン2019チャリティでは「スポーツレガシー事業①」としてご支援ください。

2 被災地の小学生を対象にしたスポーツ活動による復興支援



キッズアスレティクス×とうほくキャラバン

日本キッズアスレティクス協会(一般社団法人キッズアスレティクス・ジャパン)

9月中旬に、岩手県宮古市立田老第一小学校、宮城県登米
市立佐沼小学校、福島県南相馬市立原町第三小学校の
3校にて実施予定。あわせて、現地にて指導スタッフ育成
研修会も実施予定。

2018年度～



東京マラソン2019チャリティでは「スポーツレガシー事業②」としてご支援ください。

3 被災地の育英事業(いわての学び希望基金、東日本大震災みやぎ子ども育英募金、東日本大震災ふくしま子ども寄附金へ分配)

東京マラソン2019チャリティでは「スポーツレガシー事業③」としてご支援ください。



若いアスリートを強化育成する 「ダイヤモンドアスリートプログラム」

公益財団法人日本陸上競技連盟

2020年の東京オリンピック、また、その後の国際競技会に向けて特に活躍が期待されるタレント(才能)をもった競技者(原石)の強化育成を、2015年11月以降サポートしています。

サポート内容は多岐に渡り、リーダーシッププログラム(メディアトレーニング含む)、語学研修プログラム、医学測定、海外合宿サポートプログラム、栄養サポートプログラム、海外コーチ招聘、国内競技会派遣、国内コーチ派遣等に及びます。

2017年度活動報告

2017年度リーダーシッププログラム【監修:為末 大】

目的:競技力向上だけでなく、豊かな人間性を持つ国際人育成のための個を重視した育成プログラムの中で、リーダーシップ教育と位置づけて行う。国際的なリーダーシップを発揮できるアスリートの育成を目指す。

- 1回
2017年
1月25日(土)
●トークセッション「より高いレベルのアスリートを目指すには」
ゲストスピーカー:野村 忠宏さん(柔道家・ミキハウス)
進行:為末 大さん
●ワークショップ「プロ選手に必要な視点」
- 2回
2018年
1月11日(木)
●講義「脳科学研究とスポーツにもとづく心的時間の特性」
一川 誠さん(千葉大学大学院人文科学研究科教授)
●振り返りワークショップ
●ワークショップ「伝統芸能体験から学ぶプロフェッショナルマインド」:三宅 藤九郎さん(狂言師)
- 3回
2018年
1月12日(金)
●講義「勝てるアスリートの数学的思考」
深沢 真太郎さん(BMコンサルティング株式会社代表取締役/多摩大学非常勤講師)
●振り返りワークショップ
●講義「LGBTとスポーツの未来」:杉山 文野さん(元フェンシング女子日本代表/株式会社ニューキャンパス代表)
- 4回
2018年
2月23日(金)
●講義「『運動』について」
加藤 大直さん(プロダクトデザイナー、MagnaRecta, Inc兼RepRap Community Japan代表)
●振り返りワークショップ
●為末 大さんによる「まとめのワーク」
- 番外編
2018年
2月24日(土)
●「東京マラソン2018前日祭」(丸の内)
先輩オリンピックと共に、パレード参加、トークショー出演をしました。
●「東京マラソンEXPO 2018」(東京ビッグサイト)
チャリティエリアにてステージ出演。寄付者と記念撮影などで交流しました。

2017-2018 認定



宮本 大輔
(山口・東洋大学)
100m/200m



ダイヤモンドアスリートプログラム・サポーター



野村 忠宏さん
(柔道家・ミキハウス)



戸邊 直人選手
(走高跳・つくばツインビークス)



北村 夢選手
(800m・エディオン)



澤野 大地選手
(棒高跳・富士通)



山本 篤選手
(バラ陸上走幅跳・新日本住設)



横田 真人さん
(800m・男子800m
前日本記録保持者)



加納 由理さん
(長距離/マラソン・
2009年ベルリン世界選手権女子マラソン7位)



室伏 広治さん
(日本陸上競技連盟 理事)



東京マラソン
EXPO 2018



東京マラソン2018
前日祭パレード



「ダイヤモンドアスリート」
第4期(2017-2018)認定式
(2017年11月25日)

室伏広治理事がダイヤモンドアスリートを激励されました。



修了生の一人、サニブラウン アブデルハキーム選手(フロリダ大学)が会場のスクリーンに投影され、代表して謝辞を述べました。

修了生(出席者) 佐久間滉大選手(法政大学)、平松祐司選手(筑波大学)、岩本武選手(順天堂大学)、山下潤選手(筑波大学)、犬塚渉選手(順天堂大学)、北口榛花選手(日本大学)

アスリート ※氏名(出身都道府県・所属)、種目を掲載しています。



塚本 ジャスティン 惇平
(埼玉・城西大学附属城西高等学校)
100m/200m



井本 佳伸
(京都・東海大学)
200m/400m



クレイ アーロン 竜波
(神奈川・相洋高等学校)
800m



橋岡 優輝
(埼玉・日本大学)
走幅跳



江島 雅紀
(神奈川・日本大学)
棒高跳



池川 博史
(兵庫・筑波大学)
やり投



中村 健太郎
(大阪・清風南海高等学校)
やり投



高松 智美 ムセンビ
(大阪・名城大学)
3000m



藤井 菜々子
(福岡・エディオン)
競歩



長 麻尋
(和歌山・国士舘大学)
やり投

「リーダーシップの本質は、“自分が目指すゴールの方向に、どうすればコントロールできるか”をやっていくこと。そのときには、他者に対してだけでなく、自分の振る舞いも含めて、どうすれば自分の思うようにもっていきやすいのかを考えよう。例えば、今日、みんながここでいろいろな質問をしたことによって、先輩たちとつながりが生まれてメンターができた。これが“セーフティーネット”。そんな感じで、徐々に自分の環境を整備しながら、競技をやっていくうえで一番いい環境をつくってほしい。これを(人任せにせず)自分自身でつくっていくようにすると、いい競技生活が送っていただけると思う。」

スポーツレガシー事業運営委員
為末 大(元プロ陸上選手)



ランニングコース整備
一般財団法人東京マラソン財団
2016~18大会の寄付金にて実施予定

ランナーが気軽にランニングを楽しみ、仲間とともに継続できる環境の整備をサポートします。コース内に計測機器を設置し、専用のタグを使って「正確な記録計測ができるコース」を利用者に提供するシステムを計画中です。
2018年秋以降で実施を予定しています。

※ご利用にあたってはタグをご購入いただくことになります。



※イメージ

スポーツの
広がり

普及啓発

キッズアスレティクス×東京マラソンスタイル

日本キッズアスレティクス協会
(一般社団法人キッズアスレティクス・ジャパン)



子どもたちの「走る・跳ぶ・投げる」を中心としたスポーツ基礎力を高めるとともに、陸上競技への関心が高まるようサポートしています。江東区「夢の島競技場」および、東京マラソンのコース沿道の小学校(5校)にて実施されました。

2017年度活動報告

- 2017年 9月 16日(土)実施 (一般参加) 夢の島競技場
- 2017年 10月 13日(金)実施 江東区立深川小学校
- 2017年 11月 1日(水)実施 台東区立金竜小学校
- 2017年 11月 16日(木)実施 中央区立泰明小学校
- 2017年 11月 21日(火)実施 千代田区立九段小学校
- 2017年 11月 30日(木)実施 墨田区立外手小学校



スポーツの
広がり

普及啓発

車いす陸上チャレンジサポート

一般社団法人ウィルチェアアスリートクラブ
ソシオSOEJIMA

車いす陸上体験教室に参加した方が、実際に競技を続けられるようにサポートしています。



2017年度活動報告

- 2017年 7月 9日(日)実施 車いす陸上体験教室(夢の島競技場)
- 2017年12月 17日(日)実施 車いす陸上体験教室(大田区立羽田小学校)
- 2018年 1月 14日(日)実施 車いす陸上体験教室(有明シンボルプロムナード)
- 2018年2月 24日(土)実施 『東京マラソン2018ファミリーラン』にて、車いす部門を実施(有明シンボルプロムナード公園)



FAMILY RUN
TOKYO MARATHON 2018

スポーツの
力

社会貢献

日本パラ陸上競技選手権大会

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟



2017年度活動報告

『日本パラ陸上競技選手権大会』<2017年6月10日(土)、11日(日)／駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場開催>の運営をサポートしました。11日(日)には、寄付者をご招待して観戦会を実施し、競技の内容やルール・クラス分けなど、日本パラ陸上競技連盟 理事・強化委員会の指宿(いぶすき)副委員長による「競技解説」が行われました。東京マラソン車いすレースディレクターの副島正純さんをはじめ、後日開催予定の世界大会へ出場が決まっているトップ選手も多数出場し、観覧席からは競技ごとに熱い声援が送られました。

スポーツレガシー事業運営委員会のご紹介

委員長

早野 忠昭 Tadaaki Hayano

東京マラソン財団事業担当局長 / 東京マラソンレースディレクター

東京マラソンチャリティが集まった人々の想いを基盤としながら、「みんなの手で創り出し、つないでいくレガシー」というコンセプトを掲げ、「スポーツが後世に残すもの」つまりスポーツの「レガシー」の創造と継承を、東京マラソンのミッションとして取り組んでいきます。私たちの生活が豊かで幸せなものになったと実感できるように、ぜひスポーツレガシー事業を応援してください。

委員

※敬称略

為末 大 Dai Tamesue
元プロ陸上選手

内藤 典子 Noriko Naito
東京都オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部調整課長

平野 了 Ryo Hirano
日本陸上競技連盟 強化普及部 課長

